

# 組子ベッド百報

2014. 1-2月号 (No. 26)

著作権は、(株)総桐箆笥和光が所有します  
 代表取締役 加島清治  
 〒830-0424 福岡県三潴郡大木町三八松1048  
 TEL/0944-33-1421 FAX/0120-279-050

このニュースレターは“組子ベッド・販売様向け”に編集したものです。組子ベッド、桐たんす、新製品、販売ハウツー、展示会案内、販売店様相互の話題、その等、売上増進繋がる生きた情報を提供していきます。年6回(奇数月)に発行。保管をお願い致します。



招  
福



お正月の挨拶です  
 本年もよろしくお願い致します  
 お願い申し上げます

二〇一四年元旦



(株)総桐箆笥和光



## ■NHK福岡にて"まちの修理屋さん"として紹介されました(12/10)



県が音頭取りしている、まちの修理屋さん事業の紹介の一つとして、当社の家具(桐たんす)の再生(洗い・リフォーム)の事がNHK福岡放送の火曜日夕方の番組”街角情報フロム福岡”にて放送されました。当社で再生をさせていただいたお客様も、お孫さんと登場していただきました。延べ3時間も収録して行ったのですが、1分程度と短すぎでした 😞

## ■家具の日に、親父が生まれた日に・・・(11/1)



こちらは、11月1日の西日本新聞筑後版(朝刊)の記事。今回は記者からの取材申込みがあり2時間程お話ししましたが、中途半端な短い記事に。私のパソコン歴と今の仕事の関係の取材でしたが、16歳の私に「パソコン習ったかか？」と薦めたのは亡父でした。11月1日は、その亡父の誕生日。しかも、一般にはあまり知られてない「家具の日」でもあります。記者には、このことは話さなかったのですが、期せずして同じ日に記事になったのは、不思議な因果を感じました。PCは私にとってはノミとカンナと同じで"道具"でしかありません。

### ■ベッドの下にはモノを置かないことです

最近発行された、収納に関しての本に、ベッドの下の空きスペースは引出タイプのプラケースを使いましょう～的なことを書いてありました。でも、これ

には、たいへん疑問です。

確かに収納スペースにはなりますが、ベッドの下の空間は意味があります。それはマットや布団の湿気を逃がす為に空けておく必要があるのです。また、ベッドの下は結構ほこりも溜まり、ダニの住処にもなったりしますので、毎日でも掃除機をかけ清潔にすることです。



他社のベッド(販売されているかも知れませんが)で、ベッドの下が引出付き、また収納庫になっているものは、中はカビだらけになっている場合もありますのでご注意下さい。

## ■転落防止&掛布団の落下防止にサイドパネルを

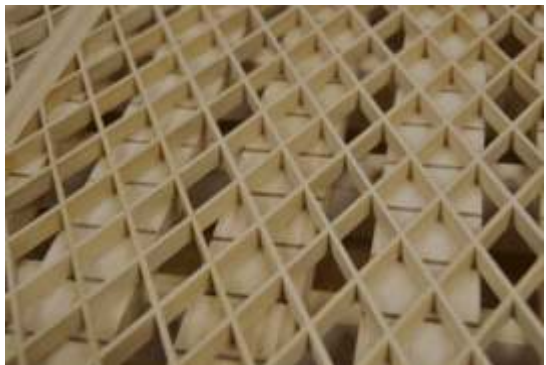
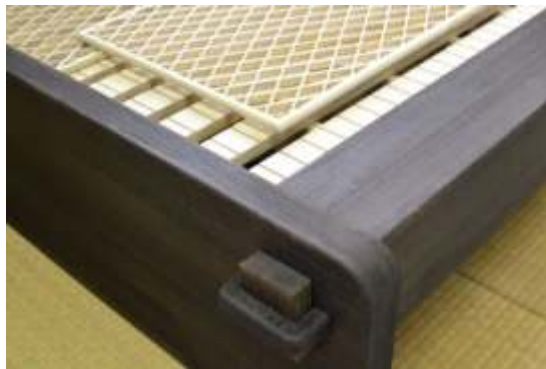


組子ベッドのオプション、サイドパネルは転落防止、また、掛布団の落下防止、また、ベッドから立ち上がる際に手がかりになり便利。取り付けも、ベッドを傾けて下に敷き込めばOK。好きな位置に動かせもします。これは寝相の悪い私の実体験からですが、サイドパネル一個だと羽毛布団がずり落ちて困ってました。そこで、試しに2個使ってみたら、ずり落ちることがなかった次第です。立ち上がる際も両腕使えますからとても楽。お薦め下さい

(株)総桐箆筒和光

## ■スノコの筋は組子の為

当社の組子ベッドのスノコには、幅3mm深さ3mmの溝を付けています。右下の写真を見ていただくと分かるように、組子のダイヤ型になった一部がスノコのド真ん中に乗っている部分があるので、筋を設けて湿気を逃がしているのです。他社メーカーで意味なく真似ている所がありますが、当社のスノコの筋には意味があるのです。



## ■着物の収納には桐たんすを

お仕事やご趣味で着物をたくさんお持ちの方、また、数は少ないけれども、代々受け継いだ大切な着物をお持ちの方もいるかと思いますが、衣装箱等は、長期の保存には向いていません。

桐たんすの引出は精度が必要です。湿気の多い時は引出が若干固くなって湿気を防ぎ、乾いた気候になると引出に若干隙間を作り、中の湿気を逃がすようになっています。これにより、引出内部の湿度を一定に保ち着物を守るようになっています。

また、桐はアルカリ性質ですので、虫が付きにくく、さらに、発火点も高く、燃えにくい材です。桐たんすは値段が高い、と思っている方もいるかと思いますが、お持ちになっている着物一枚分程度です。わずか一枚分で安心と満足が買えます。

## ■冬にカビが発生しやすくなります



桐たんすと結露の話など。冬に、意外と多いのがカビ。おや？とお思いの方もいるかと思いますが、梅雨と同様に、冬もご用心。

"結露"。分かりやすくは、窓に付く水滴です。"へのへのもへじ"と書いた経験は皆さんおありかと。なぜ水滴が着くかと言えば、湿気は室内の気温が下がると、空気中にため込む湿気の量が少なくなり、余ったものがガラス窓に水滴となって着くのです。ガラスは分かりいいのですが、壁やタンスにも水分が着くこととなります。これがカビの原因となるのです。

桐たんすの場合は、引出の中への湿気の進入を防ぎます。桐材は独立気泡体という独自の細胞構造を持っていて湿気を中に通しにくく、また、発散しやすい構造なのです。大切な着物や衣類、また、毛皮製品にも適しています。カビさせては台無しかと。ぜひ、当社の桐たんすをご検討下さい。

**なお、組子ベッドもこの時期は要注意です。日中はふとんを半折りして、湿気を逃がすことをお勧め下さい**



## ■コンセントの回りの清掃



10月の初め、福岡の整形外科での火災では10名が死亡ということで、いたたまれないことでした。1階の処置室に置かれた、温熱治療用の器具の電気プラグが差し込まれていたコンセントの周辺に、ショートした跡があることがわかっていて、火災当日は雨が降っていたことから、コンセントの隙間にたまったほこりが湿気を吸い、発火する、「トラッキング現象」が起きた可能性があるとされています。

当社では毎朝、工場の掃除を行っていますが、この事故のあと、はじめてコンセント回りの清掃を行いました。工場内ではほこりは日常茶飯事。怪しい所が数カ所見つかりました。

## ■臭い、臭いで一騒動

工場から、くさい、くさい、どこかでビニールの焦げた匂いがすると、言ってきた。急ぎ現場急行。モーター、コンセント、配電盤に手を当ててみるが、熱くなっているものはない。じゃ、上？と蛍光灯類も当たってみるが常温。気のせい？でもない。やっぱりくさい。特定出来ないの、とりあえず窓を開け、消火器を側に置いて、様子を見ることに。しばらくして、アイロンがコンセントに刺さっていて、それがホウキに当たっていることを発見。担当本人もビックリ。大事にならなくてよかったものの、鼻がしばらくは曲がってしまった(〜)



## ■うづくりタワシとは・・・



うづくりタワシとかバレンとか呼ばれるもので、桐たんすの木目を引き立たせるのに必須な工具です。直径が4cmほど。ホウキの先を丸く束ねた格好をしています。穂先の出がなくなったら、紐を一重、二重と解き、真ん中に出ている紐を引いてしごとと、穂先が出るようになってます。



米びつ製作講座の参加者から、「この中の素材はなんですか？」と聞かれたと職人が言ってきました。私も知りません(〜)そこで、よくよく調べてみました。うづくりタワシの中身は、「干したカルカヤの根」ということです。では、その「カルカヤ」とはなんぞやです。

ー百科事典マイペディアより引用ー

イネ科の多年草、メガルカヤとオガルカヤの総称であるが、前者をさす場合が多い。メガルカヤは本州～沖縄、東アジアの山野にはえる。茎はやや太く、高さ0.7～1m。葉は広線形で、基部に長い白毛がまばらにはえる。



## ■桐製猫鍋(ねこなべ)

息子が懇意にしていた猫カフェが閉店するので、記念として猫用の木製猫鍋をプレゼントしたそうです。桐材は暖かく、湿度も調整してくれる優れた材料でもあるので、猫ちゃん、気持ち良さそうに丸まっていたそうです。

# DNA

我が社の遺伝子情報であり、会社史であり、備忘録であり、自分史であり、ドキュメンタリーでもあります



## ■ならぬ堪忍するが堪忍

亡き親父の木彫で"韓信の股くぐり"の作です。ショールーム併設の彫刻ギャラリーに展示中です。70歳近くになっての作品だったと思います。「韓信」とは、漢の天下統一に功績のあった名将です。

### 故事ことわざ辞典引用

韓信が若い頃、町のごろつきに喧嘩を売られたが、韓信は大志を抱く身であったからごろつきと争うことを避けた。言われるまま彼の股の下をくぐらされるという屈辱をあえて受けたが、その後韓信は大成し、天下統一のために活躍したという故事から。将来に大望のある者は、目の前の小さな悔いを忍ぶべきという戒めである。「感心なことだ」の意味で相手を褒める際、「韓信」と「感心」をかけて「感心の股くぐり」と洒落て使うことがある。

どういふ思いでこの作品を作ったかの経緯は分かりませんが、お客様に作品のことを聞かれるたびに、この「韓信」というのは、いかなる人生を送ったかに興味がいくようになりました。たどりついたのが「項羽と劉邦」。中国の大河ドラマでもあったようでDVDで全17巻ありました。韓信は国土無双の百戦百勝には驚きました。大志をいだとまではいきませんが、将来を見据えたら我慢すべきと、親父の彫刻を改めてみている所です

## ■ものを慈しむ、脱・断捨離

本が毎年100冊ほど増えてとうとう置くところなくなりました。大方の本は、二度読むことはありませんので、思い切って"断捨離"して、捨ててしまえ～とも思いましたが、つまらん本でも一冊作るのにも作者はたいへんだっただろうな～と思うと簡単に捨てるのも気の毒になってしまう。



どこかに棚を、、、といっても、もう～棚を作る壁が残ってない。なんとか見つけたのが、事務所のトイレの中。入り口に上にも2段付けましたので全部で8段。これで約300冊は置けそうで、3年くらいはもてそう。"断捨離"ならぬ、"脱・断捨離"でした。

## ■商工会議所から感謝状いただきました



大川家具工業会から商工会議所の議員を出すことになっておりまして、三年、お役目致しました。

## ■机の下の機能美(〜;) )

私が使っている机の下です。仕事+プライベートで毎日約10～12時間は座っていることになります。この机、元々は両袖机でしたが、左の引出部分は、とうの昔に取っ払い、片袖になってます。その引出部分は靴入れに、手前にティッシュボックス(桐製)、その下はゴミ箱、中央はオットマンスイタルの足乗せ(中身は桐のピース)、その右はオイルヒーターです。見かけは悪いですが機能的になってますよ(〜)

